

事前評価調書

I 事業概要																																																			
事業名	農業農村整備事業（防災水利整備事業）																																																		
地区名	かのりにき 鹿乗2期地区																																																		
事業箇所	安城市 ^{きたやまざきちよう} 北山崎町、 ^{ひがしまち} 東町																																																		
事業のあらまし	本地区は安城市の南東部に位置し、一級河川矢作川右岸沿いに位置する水田地帯である。主要な農作物として、水稻及び小麦が栽培されているが、近年の少雨傾向により矢作川水系では毎年のように節水を強いられている。そこで、本事業を行うことにより今後の渇水時における対応を迅速に行い、営農を安定させることを目的とする。																																																		
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> 渇水対策ポンプ及び転倒式ゲートの設置を行うことにより、渇水時に迅速な対応を可能とすることで、地域の農業経営の安定化を図る。 <p>【副次目標】</p> なし																																																		
事業費	事業費		内訳																																																
	1.7億円		■工事費 1.4億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.2億円																																																
事業期間	採択予定年度	2022年度	着工予定年度	2023年度	完成予定年度	2026年度																																													
事業内容	揚水機場1式、転倒ゲート1式																																																		
II 評価																																																			
①事業の必要性	1) 必要性	本地区は渇水時の対応に苦慮しており、労力的・経済的な負担が非常に大きなものとなっている。そのため、本事業により渇水対策ポンプ及び転倒式ゲートの設置を行い、渇水時における迅速な対応を可能とする必要がある。 また、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（2015年9月農林水産省農村振興局整備部監修）に基づき算定したB/Cは2.1で1.0を超えている。																																																	
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 将来的に安定的な営農を継続していくためには、渇水対策施設を整備し、渇水時の迅速な対応を可能とする必要がある。																																																
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・揚水機場</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・転倒ゲート</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費（億円）</td> <td colspan="5">1.7</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table>						2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種 区分	調査・設計	←→					用地補償		←→				工事						・揚水機場		←→				・転倒ゲート				←→		事業費（億円）	1.7					1.7
		2022	2023	2024	2025	2026	合計																																												
工種 区分	調査・設計	←→																																																	
	用地補償		←→																																																
	工事																																																		
	・揚水機場		←→																																																
	・転倒ゲート				←→																																														
事業費（億円）	1.7					1.7																																													
2) 地元の合意形成	地元土地改良区から着工要望が提出されており、合意形成は図られている。																																																		

判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】	地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。
Ⅲ 対応方針（案）		
事業実施が 妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 施設の維持管理状況		